

参加者ご一同様

「第4回 PMAJ Networking（会員交流会）-2 / 3」

振返りアンケートまとめ

2014.03.01

事務局 岩下 幸功

[iwashita@pmaj.or.jp](mailto:iwashita@pmaj.or.jp)

過日には、お忙しい中、「第4回PMAJ Networking（会員交流会）-2/3」に参加頂  
きましてありがとうございます。如何でしたでしょうか？ 下記の如く、様々なご意見・  
ご感想をお寄せ頂きましてありがとうございます。今後の企画・運営に活かしてまいり  
ます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

質問1：参加の目的・期待は達成されましたか？

【達成できた：10】

- ・ミャンマーのJICAのアクティビティは理解できた。
- ・JICAのソフト系ODAに関し、中堅の方から実情と見通しを聞くことができた
- ・JICAのODAの事例を聞くことができ、P2Mが貢献できるところが大きいにあることが確認でき、よかった。
- ・発展途上国への援助に興味がある
- ・P2Mの改訂概要は理解できた。
- ・会員の一部の方とも交流できた。
- ・プロジェクトマネジメントに関する皆さんのお考えの一端を感じることができた
- ・他分野のプロジェクトについての参考にできそうな考えの違い等少し感じる事ができた。

【対応策】

- ・今後もテーマ選びと双方向での議論の場を通じて交流が図れるように工夫する。

質問2：今後も「PMAJ Networking（会員交流会）」に参加したいと思いますか？

【達成できた：9】

- ・もちろんです
- ・勉強になります
- ・得難い情報がえられる。すばらし皆さんに会える。
- ・参加者の専門領域の話を聞きたい。
- ・広い業種の方から有益な情報が聞けそうだから
- ・2～3ヶ月に一度、このような交流会に参加させて頂くことで、大いに刺激を受けたいと

思う

- ・もっと回数を増やした方が良いと思います。（たとえば月に一回ぐらい）

【その他：1】

- ・たまに

【対応策】

- ・交流が深まるように実施回数を増やしていく。（3ヶ月毎⇒2 or 1 カ月毎へ？）

質問3：プログラム構成（全体）についてお尋ねします。

【良かった：9】

- ・P2M改訂のポイント、JICAの事例とも大変興味深かった
- ・データと裏話のバランスがよい。
- ・他の協会と比べて、どこよりも質疑が多いですね！

【その他：1】

- ・初めと最後に交流の時間があるのはいいと思う。

【対応策】

- ・今後ともファシリテーターを置いて、双方向の議論が活性化するよう工夫する

質問4：会員様からの話題提供について？

「JICA技術協力プロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント」

～ミャンマーIT人材育成プロジェクトを例に～

増田 吉朗 様（独立行政法人 国際協力機構 総務部総合調整課）

（ファシリテーター：伊藤 毅 様（IC Net Ltd））

【良かった：10】

- ・データと裏話のバランスがよい。
- ・国際協力の具体的な内容を伺う貴重な機会となった
- ・内容と増田さんの熱意に感心しました
- ・JICAさんのPMの進め方が良く分かりました
- ・JICAのODAの事例を聞くことができ、P2Mが貢献できる場所が大いにあることが確認でき、よかった。

【その他：1】

【対応策】

- ・今回も伊藤さん（アイシーネット）にファシリテーターをお願いし、双方向の議論を盛り上げて頂いた。今後もこのような演出と準備に注力していきたい。

質問5：Networking（参加者交流）について？

【良かった：8】

- ・質疑応答は面白かったです
- ・多くの方と名刺交換やお話をさせて頂き、普段は接点のない方々と繋がることができた
- ・2度目ですが、顔なじみが増えてきた感があり、これからも楽しみです。
- ・得難い情報がえられる。すばらし皆さんに会える。

【改善の余地あり：2】

- ・メンバーが固定化しているような・・・
- ・元々面識のあるメンバー間でのコミュニケーションになっている。
- ・例えば話題提供の講演時間を30分程度にしてワールドカフェ的な意見交換の場を作ってみてはどうか

【対応策】

- ・少なくとも半分は新しい参加者になるように工夫する
- ・グローバルPMという話題が続いたので、新しい分野の新しい話題で企画する
- ・ワールドカフェ的なダイアログの場を工夫・演出する  
(参考：ワールドカフェの7つの原理)
- ①コンテキストを設定する
  - ・ダイアログを可能にするための目的と広範な要件を明確にする
- ②もてなしの空間を創造する
  - ・個人的な快適さと、お互いを尊重する気持ちを育むことができるもてなしの環境と、心理的な安心感を確保する
- ③大切な質問を探求する
  - ・協働を引き出すような強い力を持つ質問に対して、集合的に関心を高める
- ④全員の貢献を促す
  - ・参画と相互支援を促すことによって、「個」と「全体」の関係を活性化する
- ⑤多様な視点を他花受粉させて、つなげる
  - ・中核的な質問に対して共通の関心を高め、異なる視点のつながりをもつ多様性と密度を意図的に強めることにより、創発が現れる生体システムのダイナミズムを活用する
- ⑥パターン、洞察、より深い質問に共に耳を傾ける
  - ・個々人の貢献を損なわずに思考の結束を育むことができるように、共通の関心事に焦点を当てる
- ⑦集合的発見を収穫し共有する
  - ・集合的知識と洞察を可視化することによって行動に移せるようにする

質問6：事務局対応（会費、料理及び進行方法など）について？

【良かった：4】

- ・いつもありがとうございます。
- ・無理なく、リラックスして参加できる。

・冬の季節にはコート用のハンガーラックなどを廊下側に用意していただけると、もっとい  
いと・・・

**【対応策】**

- ・参加者人数に応じて、都度、料理や配膳を見直す
- ・コート用のハンガーラック又はクローク用のテーブルを準備する

質問7：「（参加者満足度）最高の会員交流会」へと進化させるためのアイデアがありましたら、教えて下さい！

（自由記述）

- ・元々面識のあるメンバー間でのコミュニケーションになっている。
- ・上述のようにメンバーが固定してしまうと、新規の人が入りづらいかも・・・
- ・初めての参加者も融け込めるような雰囲気づくり
- ・はじめは敷居が高いと思いますが、一度慣れれば問題ないはずです。
- ・若手、女性を招待してはどうでしょうか？
- ・若者と女性の発表者・参加者を期待したい。
- ・もう少し女性や若い会員も参加しやすい雰囲気だといいですね。
- ・「悩み相談」なんて枠を設けてもいいかもしれません。
- ・テーマを決めたグループディスカッション（3～5名単位）
- ・例えば話題提供の講演時間を30分程度にして、ワールドカフェ的な意見交換の場を作ってみてはどうか
- ・年簡の実施予定を発表してほしい。早めに予定することで、出席者が増えると思う。
- ・ゲストスピーカーの招聘

**【対応策】**

- ・少なくとも半分は新しい参加者になるように工夫する
- ・グループ構成をシャッフルし、固定化しないように工夫する
- ・提供する話題のテーマを多岐に分散させ、固定化しないように工夫する
- ・若手・女性の参加につながるようにプロモーションに工夫する
- ・若手・女性との同伴での参加を促すようにインセンティブを設ける
- ・「悩み相談」「ワールドカフェ」的なファシリテーションを検討する
- ・年間の開催スケジュールを設定する
- ・ゲストスピーカーの公募・紹介を募る
- ・企画・運営機能を充実し、更に進化発展するように工夫する

質問8：「会員交流会」の企画・運営に事務局として参加頂けますか？

**【参加したい：1】**

- ・少し考えてみます！

**【参加は無理：7】**

- ・申し訳ありません、業務多忙につき・・・
- ・関西の運営に専念します。
- ・多忙なため、

**【その他】**

- ・この交流会と例会の位置づけの違いは何でしょうか？
- ・前回・今回の話など、いずれも例会での講演にふさわしいと思いました（というより、例会の講演はPM 業界からは遠いものが多いように感じています）。

**【対応策】**

- ・企画・運営を行なっていただく「幹事会」のようなものを組織化する

質問9：次回の「話題提供者」として推薦（自薦・他薦）したい方をご提案下さい！

（自由記述）

- ・スマホやSNS ビジネスの方の話を聞いてみたい

**【対応策】**

- ・ご希望・ご期待に沿うようスケジューリングしてまいります。

質問10：その他、どのようなことでも結構です。ご意見・ご提案をお寄せ下さい！

（自由記述）

- ・若者と女性の発表者・参加者を期待したい。
- ・交流会のお知らせが、PMAJ のホームページで見つかりませんでした。
- ・分かりやすい場所に啓示をお願いします。

**【対応策】**

- ・年間計画とスケジューリングに工夫します。次回は4月3日（木）です。
- ・この場から新たなマッチングによるビジネスが生まれることを期待しています。
- ・積極的プロモーションして頂ければ幸いです。

ありがとうございました！